

主 催 公益社団法人平塚青年会議所

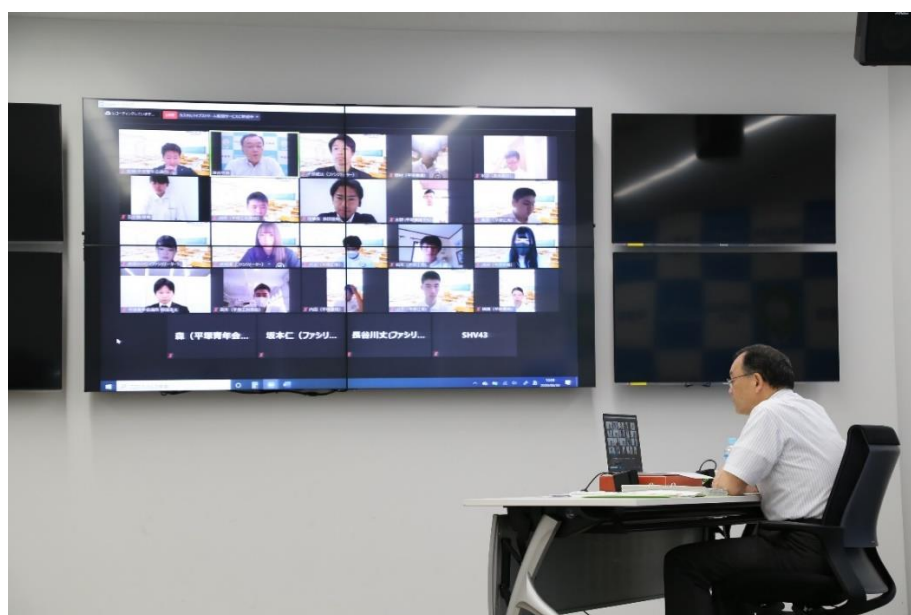
# ひらつかウェブ

## タウンミーティング

(令和2年度第1回 市民と市長の対話集会)

### 開催結果報告書

- 1 開催日時 令和2年(2020年)8月30日(日)  
午前10時から正午まで
- 2 開催場所 会議用ソフト Zoom によるオンライン会議
- 3 参加者 高校生13人  
大学生ファシリテーター5人



ひらつかウェブタウンミーティングの様子

## 4 理事長開会あいさつ

新型コロナウイルス感染症で、高校生も普段の学びができなくなり大きな影響を受けました。本日は今皆さんが感じていること、考えていることを率直に伝えてもらい、大人がしっかりと受け止め、平塚の教育環境がより良くなるように、平塚青年会議所としても取り組んでいきたいと考えています。本日はよろしく申し上げます。

## 5 市長あいさつ

本日の開催に当たり、平塚青年会議所をはじめ御協力いただいている皆さんに感謝します。本日は市内6校から13名の高校生に参加していただきました。短い夏休みの中で本日のために準備をしてくれたことを大変うれしく思います。直接お会いできず残念ですが、オンライン環境を利用して、皆さんと意見交換できることを楽しみにしています。

## 6 主なミーティングの内容

### 【高校生】

オンライン学習では、モチベーションが上がりにくいです。今後を見据えた学習意欲が高まるカリキュラムを導入する予定はありますか。

### 【市長】

各学校では、児童生徒の学習意欲の向上に向け、「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視した授業に取り組んでおり、オンライン授業を行う場合にも日頃の指導成果が現れるものと考えています。

現在、平塚市では、国が示すGIGAスクール構想を受け、全ての学校でオンラインによる学習活動が行える環境整備を進めており、その中、児童生徒がICTを活用し意見交換を行うことができる等の「授業支援ソフト」や、一人ひとりの課題にあった学習活動等が行える「学習支援ソフト」の導入も検討しています。

今後は、これらのソフトの活用も含め、ICTを有効的に活用した授業づくり、学習活動についての研究を進め、児童生徒の学習意欲を更に高めていきたいと考えています。

### 【高校生】

中高生にインターネットの危険性などを教育し、ネットリテラシーを高めるため、ルールを作る予定はありますか。

### 【市長】

G I G Aスクール構想を進める上で、児童生徒への情報リテラシーの向上は必要不可欠であると考えています。

平塚市教育委員会では、教職員に向けて「平塚市立幼稚園、小中学校における個人情報保護ガイドライン」を策定し、学校の教育活動における個人情報保護についての基準を設けています。

今後はその基準と整合性をとりながら、児童生徒に対してのルール等を検討していくとともに、今年度、教育研究所で発足した「情報モラル教育研究部会」において、子どもたちに対しての情報モラル教育の在り方等について研究を進めていきます。

#### 【高校生】

実技や部活など、オンライン学習になじまない教育について、その対策や計画はありますか。

#### 【市長】

学校で行う授業は、教師と児童生徒、又は児童生徒同士が関わり合い、主体的に、自分自身の考えをクラスの仲間と意見交換し、学習を深めることを大切に取り組んでいます。その中、実技や実習の伴う学習は、関わり合いが特に必要となります。これは、部活動においても同様です。

平塚市教育委員会では、「新型コロナウイルス感染症に対応した教育活動再開ガイドライン」を作成し、各学校に通知しました。

各学校ではこのガイドラインをもとに、教科ごとに学習するカリキュラムの順番を入れ替えたり、活動場所を教室より広い場所に移して活動したり、感染防止対策を施して授業に取り組んでいます。

また、部活動についてもガイドラインを基に、活動前後には手洗いをしっかり行うことや、大きな声を出さないなど、感染防止に配慮して取り組んでいます。

今後も、感染状況を注視しつつ、適切な感染防止対策を行い、児童生徒が安心して安全に教育活動に取り組めるよう努めていきます。

#### 【高校生】

これまでオンライン化を進めてきた中で分かってきた課題や今後の計画はありますか。

#### 【市長】

昨年12月に発表されたG I G Aスクール構想の国の方針では、令和5年度末までに段階的に公立小中学校の全児童生徒にタブレット端末を配備する計画でした。しかし、4月に新型コロナウイルス感染が拡大したため、今後起こ

りうる災害や感染症の発症等による学校の臨時休業時においても、ICTの活用によりすべての子どもたちの学びが保障できる環境を早急に実現するために、スケジュールが前倒しとなり、今年度中に全児童生徒にタブレット端末を整備する方針へと変わりました。

課題は多々ありますが、大きなものとして、タブレット端末を含めた機器類の確保、ネットワークの構築、そして、それらを活用するための教職員研修等が挙げられます。これらの課題をできる限り解決しながら、今年度中にGIGAスクール構想が示すICT環境の整備を完了する計画でいます。

#### 【高校生】

オンライン授業を見据えたネットワーク環境の整備について検討していることはありますか。

#### 【市長】

学校内のネットワーク環境は、既に整備されています。しかしながら、GIGAスクール構想によって一人一台の端末整備に対応するため、より高速・大容量のネットワークが必要となり、新たに整備することになりました。これにより、校内で同時に約1,000台のタブレット端末がネットワークに接続することが可能になります。余談ではありますが、学校の体育館が避難所になった場合、このネットワークをフリーWi-Fi化して、避難されてきた人たちに利用してもらうことも可能となります。

また、新型コロナウイルス感染等の状況により再び臨時休業措置が取られる可能性等もあり、学校と家庭をつなぐオンラインの必要性が今まで以上に高まっています。

家庭内のネットワーク環境については、事前に簡易なアンケート調査を行っています。その調査結果をもとに、家庭への貸し出し用のWi-Fiルータ等の検討をすすめています。

#### 【高校生】

平塚市は新型コロナウイルスに対し、どのような対策に取り組んできましたか。

#### 【市長】

感染が全国に蔓延し、国が緊急事態宣言を出した4月、感染拡大に対応するため、平塚市では「緊急対策」を発表しました。

この中では、「市民の生命と健康を守る」として、市民病院に紫外線照射システムを整備、消防・救急隊にドーム型の感染症患者搬送装置を配備しました。「市民の暮らしを支える」として、生活に困っているひとり親家庭へ3万円の

給付金を支給しました。また、「まちの経済活動を維持する」として、小規模事業者に対して国の対応より早く家賃を補助するなど、様々な対策に取り組みました。

その後、7月には、ウィズコロナ・アフターコロナの視点で「総合対策」を発表しました。

この中では、「第2波・第3波へ備える」こととして、避難所に間仕切りテントを配備、「コロナ危機の中でも社会経済を回し続ける」として、皆さんも支給されたと思いますが、特別定額給付金の対象外となった新生児に同じく10万円を給付、「ポストコロナを見据え、その先のまちづくりを進める」として、スマートフォンを利用した「ひらつか☆スターライトポイント」を発行するなどの取組を進めています。

ひらつか☆スターライトポイントは、皆さんたち高校生も購入することができ、1万円で、13000円分のポイントが購入できるとも魅力的な内容になっています。平塚市民は、9月14日から事前申し込みが開始されますので、是非「ひらつか☆スターライトポイント」で検索してみてください。

なお、新型コロナウイルス感染症対策に関する情報は、平塚市ウェブページ、公式SNS、広報ひらつか、公民館での掲示など、様々な方法を組み合わせて発信するとともに、専用の総合相談コールセンターを設置し、市民からの様々な相談にワンストップで対応しています。

#### 【高校生】

ひらつか☆スターライトポイントを有効活用したイベントなどを検討していますか。

#### 【市長】

利用データを集約することで、例えば地域通貨への発展などいろいろな活用が考えられます。平塚の産業発展のために役立てていきたいと考えています。

#### 【高校生】

キャッシュレス決済を導入していない商店などに対して、どのような支援を検討していますか。

#### 【市長】

まだ未導入の商店等への支援は課題の一つと捉えています。売り手と買い手の皆さんが利用しやすい制度になるように検討しています。

#### 【高校生】

小・中学生から平塚市を良くする提案を受け付けるような仕組みがあれば、より積極的に関わりをもてると思いますが、いかがでしょうか。

【市長】

とても良いアイデアだと思います。教育委員会と相談しながら考えていきたいと思っています。

【高校生】

市長自身は、どのようなコロナ対策をしていますか。

【市長】

基本的なことですが、三つの密（密閉・密集・密接）を避け、こまめに手を洗うように心掛けています。外での飲食を控えるとともに、車で移動するときは、車内にアルコール消毒液を常備し、衛生面等に気を付けています。

私自身も皆さんと同じように、外出時はもちろん、人と会う時には必ずマスクを着用しています。マスクについては、平塚市役所1階に障がい者の皆さんが手作りした雑貨などを扱っている「ありがとう」という福祉ショップがあります。そこで先月末、平塚のロゴマークがデザインされたオリジナルマスクが発売されました。そのことが新聞に取り上げられるなど、大変好評をいただいています。

また、感染症の予防には、自己免疫力を高めることも大切だと考えています。私が仕事をしている市長室は平塚市役所の4階にありますが、普段から、エレベーターではなく階段を使って体力を維持するようにしています。

【高校生】

外食を極力控えているとのことですが、どのような基準で外食へ行く・行かないを判断しているのですか。

【市長】

平塚市長として公務で会食をする場合は、外食をすることはあります。また、利用する飲食店がしっかりと対策をしているかも判断基準としています。

【高校生】

感染者の個人情報はどうのように取り扱っていますか。

【市長】

感染者の個人情報は、神奈川県保健福祉事務所が保有していますので、平塚市では保有していません。

【高校生】

オンライン授業を行う教員が「グーグルクラスルーム」に不慣れでした。教員に対する研修の必要性について、どのように考えていますか。

【市長】

今回のコロナウイルス感染に伴う様々な対応は、誰にとっても未知のことばかりで、誰もが直面している課題に悩みながら手探りの状態に取り組んでいることが多いのではないかと考えます。

同様に、御質問にある「グーグルクラスルーム」も初めて使ったという県立高校の教職員の方々がほとんどだったのではないかと推測されます。

平塚市では、GIGAスクール構想の基本的な考え方として、タブレット端末や周辺機器（大型モニター）等を特別なものではなく、一つの教具として使うことを目指しています。

つまり、教職員が黒板やチョークを使うのと同じような感覚で配備したICT機器類を活用できるような授業支援アプリの導入を計画しています。

それにより、教職員が迷わずにタブレット端末上での教材の配布や提出、複数画像の大型モニターへの転送、動画の編集等、より効果的、効率的な学習が展開できることを期待しており、教職員への研修は不可欠であると認識しています。

【高校生】

教員への研修について具体的にどのような研修内容を検討していますか。

【市長】

専門知識を持った方からしっかり研修してもらうことは重要と考えています。具体的な研修内容は平塚市教育研究所で検討しているところです。

【高校生】

実際にタブレット端末を利用した授業が始まってから出てくる課題も多いと思いますが、そのような課題を把握するためにアンケートなど実施する予定はありますか。

【市長】

御指摘のように運用してから出てくる課題は必ずあると思います。アンケートはいいアイデアだと思います。御提案を平塚市教育研究所にお伝えし、しっかりPDCAサイクルを回していきたいと思います。

【高校生】

学校生活における統一的なコロナ対策の基準を設ける考えはありますか。

【市長】

平塚市教育委員会では、学校再開に際し、5月21日付けで「平塚市新型コロナウイルス感染症に対応した教育活動再開ガイドライン」、6月24日付けで「平塚市 新型コロナウイルス感染症に対応した持続的な学校運営のためのガイドライン」を作成し、市内の小中学校に周知しました。

また、6月30日付けで「平塚市新型コロナウイルス感染症に対応した部活動再開ガイドライン」を作成し、7月以降の段階的な再開について各中学校に活用を依頼してきました。

ガイドラインには、毎朝の健康観察の実施、教室の換気についてや、部活動の段階的な活動の再開等、児童生徒が安心して学校生活を過ごせるように、学校の教育活動の進め方が具体的に示されています。

各学校では、このガイドラインをもとに、子どもたちの心に寄り添いながら、教育活動に取り組んでいます。

#### 【高校生】

教育委員会が作成しているガイドラインは文章が難しく、生徒たちは理解していないのが現状です。小中学生向けのイラスト入りのわかりやすいガイドラインを作ってみてはいかがでしょうか。

#### 【市長】

いいアイデアだと思います。教育委員会と相談して皆さんにガイドラインの内容を理解してもらえそうな方法を検討したいと思います。

#### 【高校生】

部活動などにおいて、感染者や濃厚接触者が発生した学校が対外試合を行っている事例があると聞いています。

#### 【市長】

ガイドラインに沿った運用がされているものと考えていますが、詳細については確認して後日回答させていただきます。

#### 後日回答

新型コロナウイルス感染症に対応した学校運営や部活動のガイドラインは、平塚市立小・中学校の先生方が児童・生徒の健康と安全に注意を払いながら日々の教育活動に取り組んでいただくため、感染防止対策等の基本的な対応について平塚市教育委員会がまとめたものになります。

そして、各小・中学校は、本ガイドラインをもとに、それぞれの児童生徒や部活動の実情等に応じた工夫を加えながら、学習や部活動の運営を行っています。

なお、県立高校でも神奈川県教育委員会が「県立学校の教育活動の再開等



に関するガイドライン」等を作成しています。

**【高校生】**

若い世代がキーボード入力に慣れていないことへの具体的な対策はどのように考えていますか。

**【市長】**

キーボードによる入力に慣れていない世代が増えているということは、最近話題になることが多くなっていると聞いています。その状況を反映しているかどうかは定かではありませんが、国が進めるGIGAスクール構想では、タブレット端末にキーボードが装備されていることが前提となっています。

今年度中に平塚市内の全児童生徒に配備するタブレット端末にも、脱着式のキーボードが付いています。小学校の低学年ではタブレットとして、その後、学年が上がるにつれて、キーボード操作へと徐々に移行することが想定されるかと思えます。将来、みなさんの後輩たちがキーボード入力に慣れ、高校での授業に困らないようになると良いですね。

ちなみに導入を考えているタブレットの機種は堅牢性、防水性や管理面等を考慮して、Chromebookを選定しています。

**【高校生】**

タブレット端末の使用頻度はどのくらいを予定していますか。

**【市長】**

タブレット端末の導入について前向きに捉えていただけてうれしく思います。使用頻度については、確認し後日回答させていただきますが、整備する立場としては、積極的に活用してもらいたいと思っています。

**後日回答**

タブレット端末等の使用頻度については、教科の特性や学習内容により、活用時期や活用方法、活用時間等も異なるため、一概にお答えできませんが、効果的に活用していきたいと考えています。

**【高校生】**

授業以外でも積極的にタブレット端末を活用するきっかけとするために、処理スピードを競う大会を開催してはどうですか。

**【市長】**

小・中学生が処理スキルを高めるためにいいアイデアだと思いますので、教育委員会に伝えたいと思います。

**【高校生】**

特別な配慮を必要とする生徒への具体的な支援はありますか。

**【市長】**

平塚市教育委員会では、全ての児童生徒が、安心して充実した学校生活を送れるように、教員以外に学習面や生活面をサポートするスタッフ（サンサンススタッフ・介助員・医療的ケア学校看護師）を各学校に配置しています。その中には、特別支援学級に在籍し、医療的ケアを必要とする児童生徒をサポートする、看護師資格を所持している方もいます。

現在、医療的ケアが必要な児童生徒が登校を控えている報告は受けていませんが、これからも学校と家庭と連携し、適切で丁寧な対応を心がけるとともに、様々な理由から登校を控える児童・生徒に対しても学びを保証できるように、ICTを活用した学習の仕組みづくりを進めていきます。

**【高校生】**

G I G Aスクール構想の導入方法を教えていただきたい。また、他地域との導入時期や導入設備に差があれば教えてください。

**【市長】**

今年度中に全校の大容量・高速ネットワーク構築と全児童生徒への一人一台タブレット端末配備等を計画しています。ネットワーク構築やタブレット端末導入の時期に関しては、他の自治体と同様に、スピード感を持ち、今年度中の整備の完了を目指しています。

平塚市独自の整備としては、G I G Aスクール構想で導入したタブレット端末の有効活用のために、各教室に65型の大型モニター（横：145 cm、縦：90 cm）を設置します。

これまではカメラで撮影した画像をプロジェクターに接続し、スクリーンに拡大して投影していましたが、今後はより鮮明な画像や動画をクラス全員で視聴することや、児童・生徒が自分の意見や考えを大型モニターを使って発表し、意見交換する機会が増えるなど、様々な面での活用を期待しています。

**【高校生】**

児童生徒が安心できる情報発信について、どのように行っていますか。

**【市長】**

新型コロナウイルスに関連する情報提供につきましては、「平塚市新型コロナウイルス感染症対策本部」において、本市ウェブを中心に、平塚市として情報発信しています。

教育委員会では、学校における感染防止対策を含めた教育活動の取組「平

塚市新型コロナウイルス感染症に対応した持続的な学校運営のガイドライン」や、児童生徒の心のケアについて示した、「子どものストレスサインについて」等の資料をウェブに掲載しています。

各学校では、学級活動や道徳等の時間に、新型コロナウイルスに関する正しい知識や、感染者等に対する偏見や差別への対応について等を学んでいます。また、各家庭に、一斉メールや学校だより等により情報提供を行っています。

万が一、皆さんが通学されている学校の仲間や身近な人が、新型コロナウイルス感染症に感染してしまったとしても、いじめや差別することがないように、私からも改めてお願いします。

#### 【高校生】

子どもたちの不安を取り除くため平塚市独自の健康増進プログラムの導入を提案したいと思いますが、いかがでしょうか。

#### 【市長】

長期にわたる臨時休業から急に学校が再開しました。再開後は、感染防止対策のために、授業中や休み時間等も通常の学校生活が過ごせず、児童生徒の心と体の健康面について大変心配しています。特に、児童・生徒の心のケアには注意すべきと思っています。

平塚市子ども教育相談センターでは教職員に「子どもたちを迎える先生方へ」「子どもたちと元気に接するために」という情報を発信し、これを受けて各学校では、児童・生徒に寄り添った対応を行っています。また、学校が再開し今までと異なる学校生活に、児童生徒が感じているストレスに気付けるよう、保護者や教職員に「子どものストレスサインについて」という情報も提供しています。また、神奈川県教育委員会から、ここで改めて、8月24日付けで県立学校及び全市町村教育委員会へ「いのちを大切にすメッセージ」が発出されました。

平塚市としても「こころと命のサポート事業」として、さまざまな困りごとの相談窓口の御案内を出しています。児童生徒の皆さんには、不安や悩みがありましたら一人で思い悩まず、安心して、信頼できる大人に相談していただきたいと思っています。

#### 【高校生】

新型コロナウイルス感染症が再発生した場合、教育面でどのような対応が必要ですか。

#### 【市長】

現在、国のGIGAスクール構想の前倒しにより、今年度中に全校の大容量

量・高速ネットワーク構築と全児童・生徒への一人一台タブレット端末配備等を計画していますが、できるだけ早期に対応し、万が一、臨時休業の際においても、全ての子どもたちの学びが保障できる環境整備を目指していきたいと考えています。ICTを日常的なツールとして効果的に活用していくとともに、計画的な教育活動を推進していきたいと考えています。

また、今後も学校における感染拡大のリスクはなくなるわけではありませんので、引き続き万全の感染症対策を講じていく必要がありますが、同時に学校だけではなく社会全体が、長期間にわたり新型コロナウイルス感染症と共に生きていかなければならないという認識に立ちつつ子どもたちの健やかな学びを保障することとの両立を図っていくことが重要と考えています。

## 7 市長感想

本日は皆さんから率直な御意見を多くいただき感謝しています。

初めてのオンライン会議で心配もありましたが、皆さんや平塚青年会議所の入念な準備により、充実した意見交換ができました。ありがとうございました。

私が一番感心したのは、皆さんが新型コロナウイルス感染症の影響を、冷静に見つめて自分たちにできることをしっかり捉えていると感じたことです。

これからの未来の平塚を託す若い世代がしっかり育ってくれていることを頼もしく思いました。

皆さんから提言をいただき、平塚市として果たすべき役割を二点挙げたいと思います。

一点目は新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中、オンラインをはじめとする新しい教育環境を整えて、GIGAスクール構想における小中学校の環境整備をスピード感をもって進めていくこと。二点目は、ICT環境が整備されていく中で、家庭の事情によってオンライン学習環境に格差があつてはいけないので、各家庭でのネットワーク環境にも配慮して、必要に応じてWi-Fi貸出など適切に対応していく必要があることです。平塚市としてしっかり取り組んでいきます。

今後も、高校生世代とのつながり、今回協力してくれた大学生、平塚青年会議所スタッフなど世代を超えたつながりを大切に、地域社会の一員として、積極的に関わっていただければと思います。本日はありがとうございました。

## 8 副理事長閉会あいさつ

落合市長、本日はお忙しい中ご参加いただきありがとうございました。

また、高校生のみなさんも本日にいたるまでの準備期間を含めて大変お疲れ様でした。本日いただいたご意見を平塚青年会議所としても地域に発信して、未来につなげていきたいと思えます。本日はありがとうございました。

以 上